

関節リウマチの治療薬について

兵庫県立加古川医療センター

関節リウマチの成因

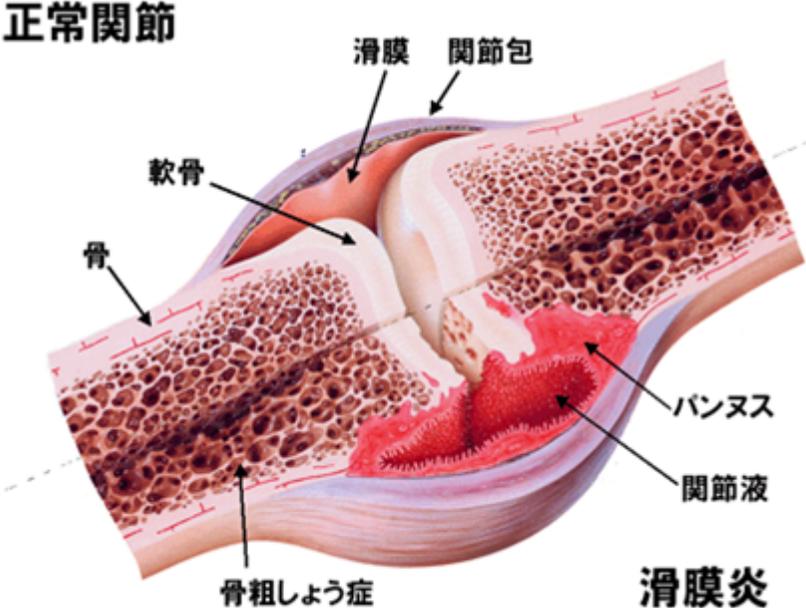
自己免疫機序が誘発される



滑膜の炎症



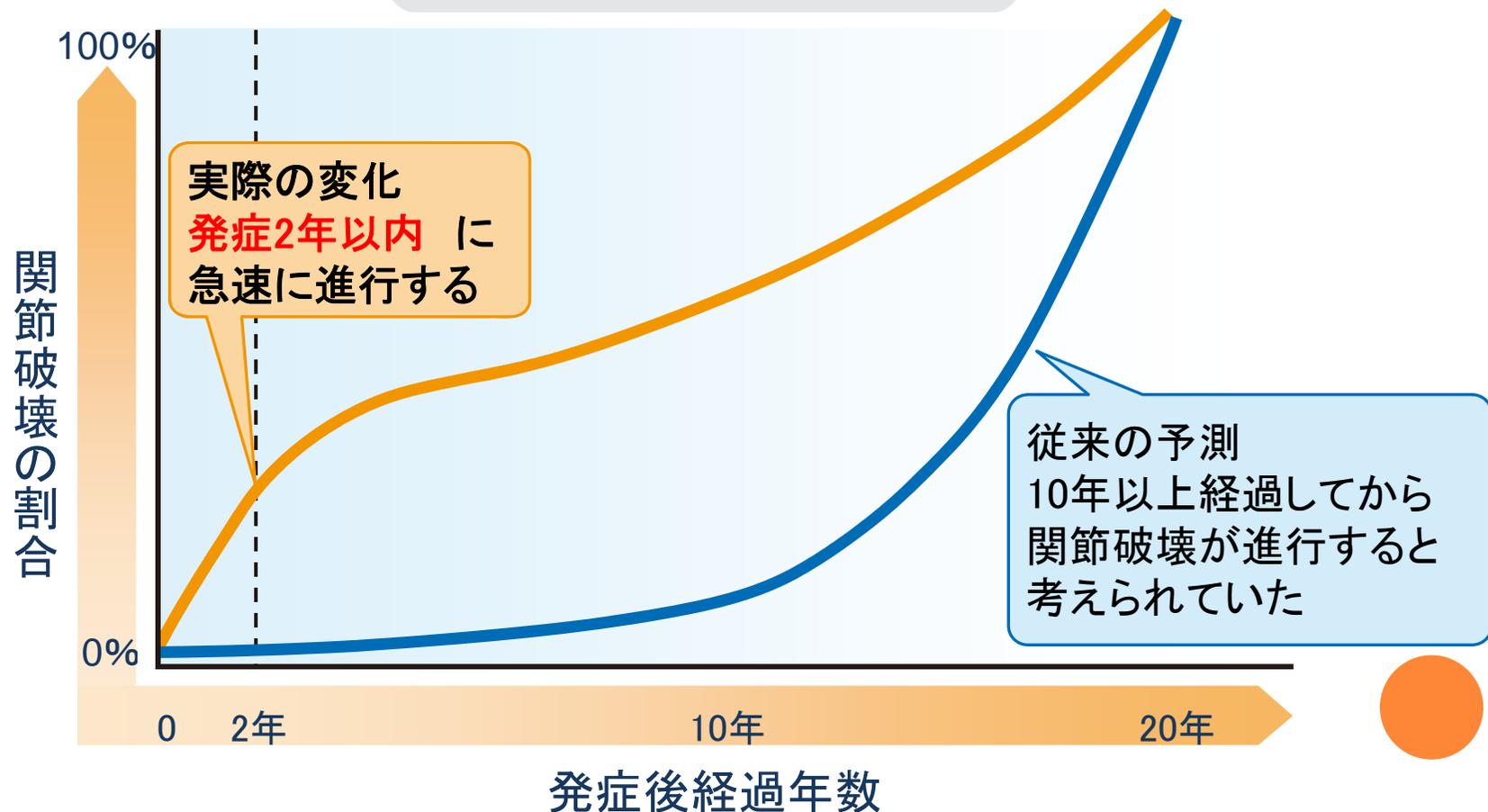
骨破壊、軟骨破壊



関節リウマチの経過

- 関節破壊は従来考えられていた以上に進行が早いことがわかってきた。そのため早期からの積極的な治療が推奨されるようになった。

関節破壊の進行



関節リウマチの治療

①基礎療法

②薬物療法

③外科療法

④リハビリテーション

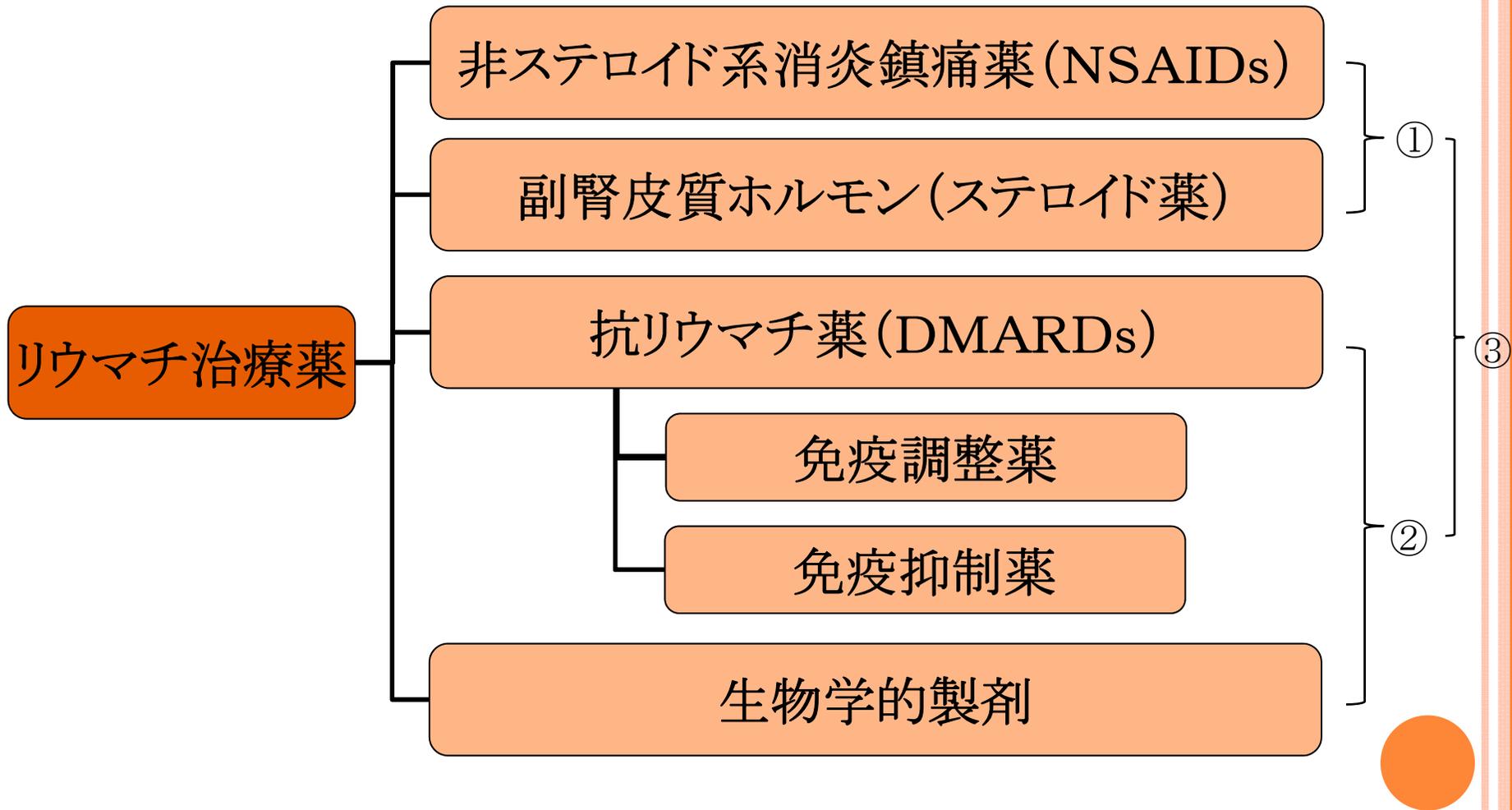


リウマチ治療の目標

- ①疼痛を軽減する
- ②関節の変形や破壊を防止する
- ③関節の機能を維持する



リウマチ治療薬の分類



非ステロイド系消炎鎮痛薬 (NSAIDs)

痛みや炎症をやわらげる薬です

- 速やかに鎮痛効果を示します
- この薬は一時的に症状を抑えますが、原因となっている病気を治すものではありません
- 関節の痛みや腫れの程度に応じて服用量を調節します
- 主な副作用：胃腸障害、皮疹、腎障害、アスピリン喘息など



ロキソプロフェンNa錠



セレコックス^R錠



エトドラク錠



ジクロフェナクNaカプセル

ステロイド薬

炎症を抑える薬です

- 強力な抗炎症作用と免疫抑制作用をもつため関節リウマチの炎症を迅速かつ効果的に抑制します
- 服用が長期間、または服用量が多くなると重い副作用がでることがあります
- 急に服用を中止すると離脱症状が現れることがあります



ステロイド薬の副作用（初期症状）

- 感染症の誘発・増悪（発熱、体がだるいなど）
- 糖尿病の誘発・増悪（のどの渇き、尿量の増加など）
- 消化管障害（吐き気、胃の痛み、黒色便など）
- 精神障害（ぼんやりする、気分が落ち込むなど）
- 動脈硬化病変（冷や汗、胸の痛み、息苦しさなど）
- 高脂血症
- 骨粗鬆症
- 月経異常



抗リウマチ薬 (DMARDs)

免疫異常を調整して関節リウマチの
活動性を抑える薬です

- DMARDs (Disease-Modifying Anti-Rheumatic Drug)とも呼ばれます
 - 次の二つに分類されます
 1. 免疫調整薬
正常な免疫には影響せず、異常な免疫機能を正常化する
 2. 免疫抑制薬
全ての免疫機能を抑制する
- 

抗リウマチ薬の特徴

- 多くの薬剤は効果発現まで2～3ヶ月を要する(遅効性)
- 効果には個人差が大きく、全く効かない人もいる
- 効果がみられていたにもかかわらず、急に効果がみられなくなり、再び活動性が高くなる場合がある(エスケープ現象)

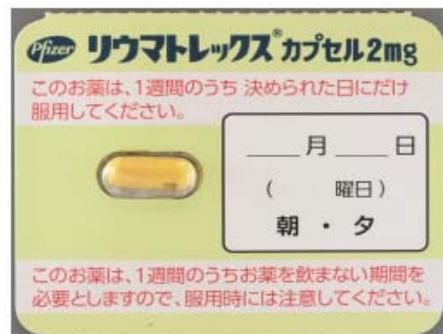


抗リウマチ薬の作用と副作用

一般名	商品名	抗リウマチ作用	注意すべき副作用
★免疫調節薬★			
金チオリンゴ酸Na	シオゾール	中	皮疹、蛋白尿、間質性肺炎
オーラノフィン	リドーラ	弱	下痢・軟便
D-ペニシラミン	メタルカプターゼ	中	皮疹、蛋白尿、肝障害、血小板減少 自己免疫疾患の誘発
サラゾスルファピリジン	アザルフィジンEN	中	皮疹、皮膚粘膜障害
ブシラミン	リマチル	中	皮疹、蛋白尿、味覚障害、黄色爪
ロベンザリット	カルフェニール	弱	腎機能障害
アクタリット	オークル	弱	皮疹
イグラチモド	ケアラム	中	肝障害、骨髄障害
★免疫抑制剤★			
メトレキサート	リウマトレックス	強	間質性肺炎、骨髄障害、肝障害
ミゾリビン	ブレディニン	弱	高尿酸血症
アザチオプリン	イムラン	弱	肝障害、白血球減少
シクロホスファミド	エンドキサン	弱	骨髄障害、出血性膀胱炎
シクロスポリン※	ネオーラル	中	腎障害、高血圧、耐糖能異常
タクロリムス	プロGRAF	中	腎障害、高血圧、耐糖能異常
ゼルヤンツ	トファチニブ	強	頭痛、感染症、肝障害、帯状疱疹
※:適応外使用			

メトトレキサート(MTX)

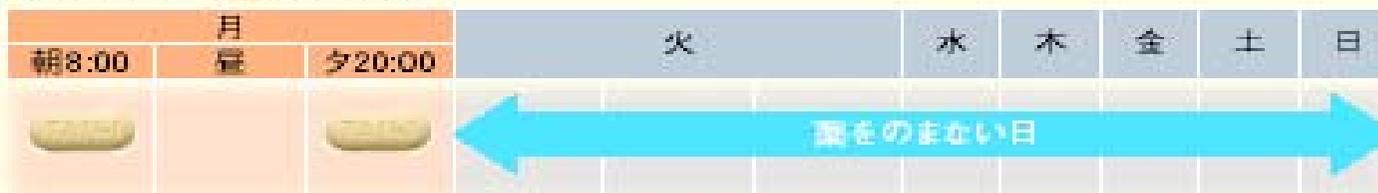
- 第一選択薬として最も良く使用される薬剤
- 有効率が高く、また効果発現が早いため関節リウマチ治療のアンカードラッグ(中心的薬剤)として用いられる
- 週1回の間欠投与(4~16mgを12時間おきに1~3回に分けて服用)する
- 副作用(口内炎、胃腸障害、下痢など)はフォリアミン(葉酸製剤)をMTX服用後24~48時間以内に服用することにより軽減可能



メトトレキサート (MTX) の服用例

1週間の服用スケジュールの例

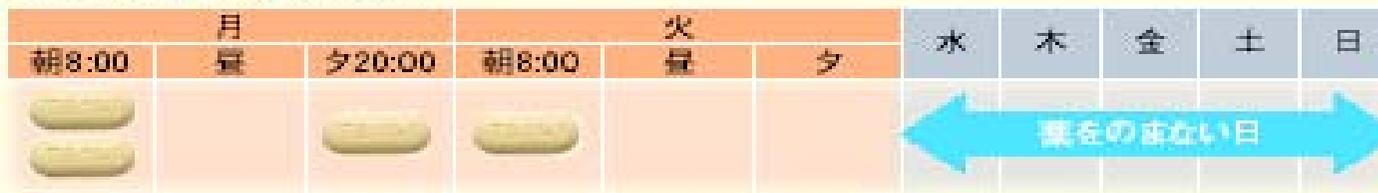
1週間に**2錠**のむ場合



1週間に**3錠**のむ場合



1週間に**4錠**のむ場合



生物学的製剤(バイオ)

- 生物学的製剤とは、生物由来の物質(遺伝子、タンパク質など)をもとにつくられた薬剤です
- 抗リウマチ薬での治療に抵抗性の症例に対して、使用が推奨されています
- 飲み薬に比べると価格が高くなり、自己負担額が大きくなります(費用に関してはソーシャルワーカーへご相談ください)



生物学的製剤7剤の特徴

商品名	薬剤名	構造	投与方法	薬価
レミケード	インフリキシマブ	キメラ型 抗TNF α 抗体	点滴静注 1回/4~8週	83,243円 (100mg)
エンブレル	エタネルセプト	ヒト型TNF受容体 融合蛋白	皮下注* 1~2回/週	31,252円 (50mg)
ヒュミラ	アダリムマブ	ヒト型 抗TNF α 抗体	皮下注* 1回/2週	65,144円 (40mg)
アクテムラ	トシリズマブ	ヒト化型 抗IL6受容体抗体	点滴静注1回/4週 皮下注1回/2週*	90,611円(400mg)
				39,291円
オレンシア	アバタセプト	ヒト型CTLA4 融合蛋白	点滴静注1回/4週 皮下注1回/1週*	54,995円(250mg)
				27,947円
シンポニー	ゴリムマブ	ヒト型 抗TNF α 抗体	皮下注 1回/4週	126,622円 (50mg)
シムジア	セルトリズマブ ペゴル	ヒト型 抗TNF α 抗体	皮下注* 1回/2週	63,494円 (200mg)

* 自己注射可

生物学的製剤の副作用

- 重篤な感染症（細菌性感染症、結核、B型肝炎の再活性化など）
 - 重篤なアレルギー
 - 血液障害
 - 間質性肺炎
 - 肝障害など
- } MTXの方が高頻度にあられます

※生物学的製剤を使用しない方がよい方

感染症に罹患している方、うっ血性心不全、結核やB型肝炎に罹患したことのある方などには注意が必要です



副作用が無い薬というのは存在しません

大切なことは副作用を予防(感染症の予防
など)すること、

副作用が出た時には早期に対応を！

(発熱など、体の異常に気付か
れたら早めの受診を)



薬物療法において大切なこと

- ご自身の症状で気になることがあった時は医師、薬剤師等に相談してください。
- 副作用の初期症状について知ってください。また、副作用の予防(マスクの着用、手洗いうがいなど)を心掛けてください。

ご清聴ありがとうございました。

